防災カフェ ― 熱中症警戒アラートの活用を ―

これからの時期は、降雨量が増えるとともに、気温も上昇します。気象庁の発表では今年の夏も暑くなることが予想されていますが、この時期で特に注意しなければならないのが「熱中症」です。

北海道における熱中症の緊急搬送は、一昨年は約3,000件で、昨年は猛暑日が少なかったため約1,600件となっております。しかし、今年の夏は暑くなると予想されているため、注意が必要です。

熱中症は、事前に対策を講じることで予防することができます。そのため、参考にしてほしい情報として、「熱中症警戒アラート（熱中症警戒情報）」があります。

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日午後５時頃及び当日午前５時頃に、気象庁と環境省が共同で発表し、暑さへの「気づき」を呼びかける情報です。「熱中症警戒アラート」が発表された場合は、扇風機やエアコン等を使用して暑さを避け、のどが渇いていなくても水分を摂取し、塩分の補給を心がけましょう。

特に高齢者や乳幼児は体力が弱く、熱中症にかかりやすいのですが、「熱中症警戒アラート」などの情報を得ることが難しいため、情報を確認できる家族や周囲のかたが「熱中症警戒アラート」を活用し、声掛けをするなどして熱中症による健康被害に注意をしましょう。

熱中症警戒アラート
発表状況（環境省ＨＰ）➡

●詳細　危機対策係☎27-7058

花火・火遊びによる火災に注意しましょう

夏の風物詩「花火」。いよいよ子どもたちにとって楽しみな季節となりました。しかし、気軽に楽しめる花火も、取扱いを誤ると火事や火傷などの事故につながりかねません。子どもの火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ火災が拡大する要因にもなります。

■花火を安全に遊ぶポイント

①風の強いときは花火をしない②燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ③子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ④説明書をよく読み、注意事項を必ず守る⑤水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける

■子どもの火遊びによる火災防止のポイント

①子どもだけを残して外出しない②ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない③子どもだけで火を取扱わせない④火遊びをしているのを見かけたら注意する⑤火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する。

事故が起こらないように十分注意し、楽しい夏の思い出にしましょう。

●詳細　芦別消防署保安係☎22-3106

夏の交通安全運動の実施

「長距離はひといきついて心にゆとりとやさしさを」

夏の交通安全運動は７月13日㈰～22日㈫の10日間実施

■ドライバーの皆さんへ

①スピードの出し過ぎや無理な追越しは、正面衝突や路外逸脱事故など重大な交通事故に直結します。交通ルールをしっかり守り、安全運転に努めましょう。②車に乗ったら、全ての座席でシートベルトを着用しましょう。③長時間の運転は運転者の注意力を散漫にし、交通違反や居眠り運転等につながり重大な交通事故を招く可能性があります。長時間運転する際は適宜休憩して、眠気を感じたら無理な運転の継続はやめましょう。

■自転車利用者の皆さんへ

昨年11月から、ながらスマホや酒気帯び運転など、自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました。自転車に乗るときは、信号や一時停止、歩行者優先などの交通ルールをしっかり守り、万が一の事故のとき、衝撃から頭部を守るため、必ずヘルメットを着用しましょう。

■歩行者のみなさんへ

斜め横断や信号無視、無理な横断は大変危険な行為です。横断歩道を利用し、信号を遵守するなど、交通ルール・マナーを守りましょう。信号機のない横断歩道は歩行者優先です。歩行者とドライバーが手を上げるなどの合図をして相互に意思疎通を図る「ハンドサインでストップ運動」を実践しましょう。

●詳細　芦別警察署☎22-0110